

#41 ココロ踊る住まい

わが家にもっと、エンタメを!



テラスやバルコニーで自然を感じながらお茶を楽しんだり、好きな音楽に包まれながら和んだり、迫力の大画面映像に浸ったり...
「おうち時間」が増えたことで「もっと心豊かに過ごしたい」「わが家をもっと楽しみたい」という家族が多くなっています。
今こそ住まいの楽しみ方や家族での過ごし方をわか家族らしくハイジヨンアップする絶好の機会ではないでしょうか。
今回は、そんな暮らしの楽しさを高める住まいの在り方について、住生活研究所の調査、研究を交えながらご紹介しましょう。

住まいの心地よさが、
楽しさアップの基本。

お気に入りの音楽を聴いていても、大迫力の映像に見入っても、その空間自体が心地よくなくては存分に楽しむことはできません。温度・湿度や明るさなどはもちろん、外につながる伸びやかさや部屋の広がりも大切な要素になります。
とくに家族一緒に過ごすシーンを考えれば、互いの気配を感じながらも、それぞれが思い思いに過ごせる「ゆるやかにつながる空間性」がポイント。LDKを大きなひとつの空間として自由に使いこなせれば、わが家を楽しむ幅も広がります。



戸建住宅で提案している「ファミリースイート」は仕切りのない大空間。家族それぞれが思い思いの場所で自由に過ごせるのが魅力です。

そして実は、この家族が集まる大きな空間にこそ「音を仕掛ける」ことが重要。暮らしを包み込むように音楽が空間を満たし、いつも身近に大好きな曲が流れている。そんな心地よさと楽しさが生まれます。



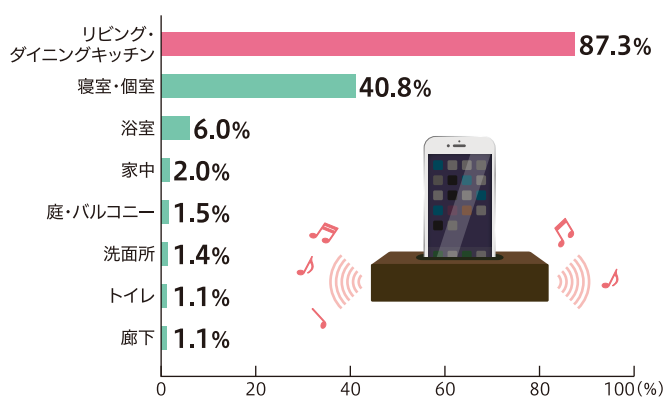
グランドメゾンでも「ファミリースイート」の考え方を活かして、伸びやかなLDKワンルームの中に多彩な居どころのある空間提案を行っています。

LDKでながら聴きながら
イマドキ・スタイル。

わが家で音楽を楽しむという、これまでは本格的なオーディオルームを設けてプライベートな時間を満喫するスタイルが中心でした。もちろん、オーディオルームスタイルも素敵ですが、最近ではもっと気軽に日常的に音楽を楽しむ人が増えてきています。

住みで音楽を聴く場所

*音楽のある暮らし調査／横水ハウス 住生活研究所(2019年 N=1020)

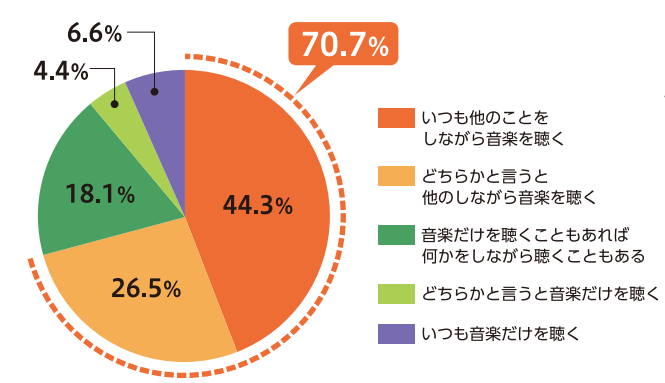


最近ではブルートゥースなどワイヤレスでつながるスピーカーが一般的になり、配線処理などで悩むことが少なくなりました。さらにスピーカー自体も優れた音質を確保しながらコンパクト化され、見た目もすっきりと美しいデザインのものが多くなっています。

インテリア性も大切。
色んな音楽の楽しみ方を。

音楽の楽しみ方

*音楽のある暮らし調査／横水ハウス 住生活研究所(2019年)



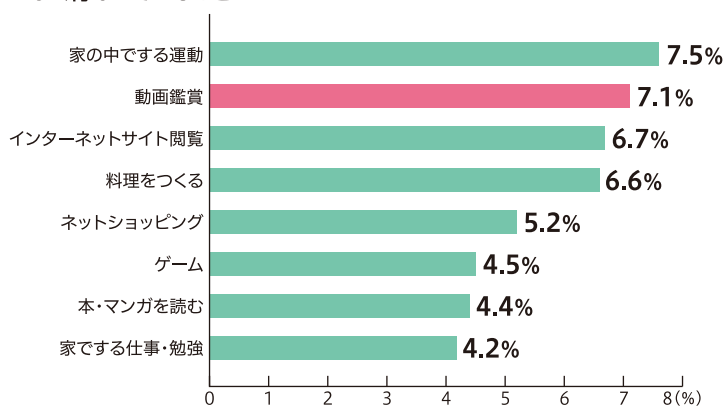
実際に音楽を聴く場所を調査してみると、約9割の人がLDKで聴いているという結果。さらに音楽の楽しみ方では、何か別のことをしながら聴いている人が7割に上っています。
インターネットを通して音楽ソースなどが入手しやすくなり、スマートフォンで気軽に再生できることもあって、イマドキの音楽の楽しみ方は「LDKでながら聴き」が主流になっているようです。
では「LDKでながら聴き」を、より心地よくするにはどのようなポイントがあるのでしょうか。

じつはその音環境を上手につくるヒントがカフェにあります。色んな席があつて、そこに座っても心地よい音楽が耳に届く。そんな音楽の流れ方が理想ではないでしょうか。具体的にはスピーカーをマルチに設けて、部屋の上方から音が降ってくるように仕上げるのがおすすめです。そうすることで空間全体がお気に入りの音楽に包み込まれる感覚になります。



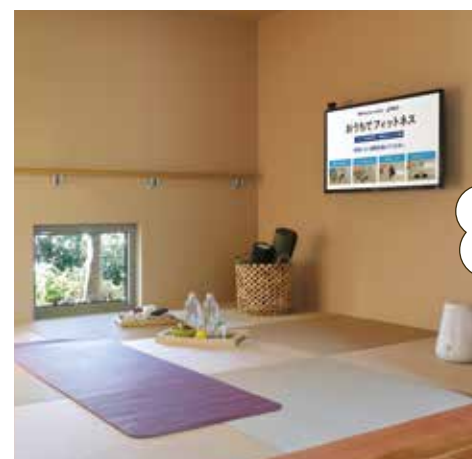
迫力ある映像とともに「家飲み」の楽しさを提案する「うち de パル」。照明を工夫した雰囲気づくりもポイントです。

■ステイホーム中に新たに始めた趣味や関心を持っていること
よく行なっていること *生活こだわり調査2020年(N=2273)/積水ハウス株式会社



オープンディスプレイ棚の中にグッズ感覚でスピーカーを設置すれば、インテリアを損なうこともありません。

壁掛けモニターからインストラクターのサポートを受けてトレーニング。日課として取り組みやすくなります。



モニター越しにマンツーマンのレッスン！



わが家らしいエンタメを考えよう。
わが家のエンターテイメント性を高めるのは、音楽や映像だけではありません。これまで出掛けて行って楽しんでいたことが、わが家でできるようにすれば、「おうち時間」はますます充実してくると言えるでしょう。たとえば、よく耳にするのが「スポーツジムやヨガ教室などに通いにくくなったから、自宅で身体を動かせるように」という要望。インストラクターがオンラインでサポートしてくれるシステムもあり、モニターなどの環境を整えれば「ひとりではなかなか続きにくい」といった問題も解消でき、わが家の日常的な習慣にしやすいくなります。

スクリーンの景色が変化すればサイクリング気分もアップ。リアルサイクリングでは難しい遠方へも気軽にGO。



リアルとバーチャル両方で楽しさアップ！

また、趣味と健康の両立を目指してロードバイクを始めた人の多くが外出制限に悩まれているようですが、大型スクリーンを活用するのも一案。専用アプリでサイクリングロードなどを映し出せば、自宅に居ながら屋外を走っているようなバーチャル体験が堪能できます。さらに最近はeスポーツの楽しみも広がっていて、専用の環境や空間を整えること

コンパクトなスペースをeスポーツルームに。自宅なら時間を気にせず、世界を相手に戦いやすくなります。



自宅に居ながらグローバルな対戦を！

もわが家のエンタメ性をアップさせるひとつになると言えるでしょう。これまで自宅ではちょっと無理かなと思っていたことも、技術の進化を活かしながら住まい側を少し工夫すれば実現しやすくなっています。さて、あなたはわが家にどんなエンタメを持ち込んで、「おうち時間」を豊かに彩りますか？

たとえばオープン収納の棚の中にディスプレイ感覚で配置したり、部屋の隅々にさりげなくマルチに設置することも可能。リフォームなどを検討されているなら、有線の壁掛けタイプや照明器具にスピーカーを組み込まれたタイプにするのも有効です。こだわりのインテリアに上手く溶け込ませるように考えてみましょう。そしてシーンに合わせた選曲も暮らしを豊かに楽しむコツのひとつです。家族でくつろぐ時、お客様をおもてなしする時、何かに集中したい時…。流れる音楽によって家事がテキパキとこなしやすくなるという実験結果もあります。お気に入りの定番曲だけでなく、家族で新しい曲を持ち寄って、わが家の新譜コンテストをしてみるのも楽しそうです。

大画面プラスαで、もっと楽しく豊かに。
懐かしい映画やアーティストのライブ、スポーツ観戦や大自然ドキュメント…。「おうち時間」の増加で飛躍的に伸びているのが、わが家での動画鑑賞です。実際に調査を行なってみると、ステイホーム中に新たに始めた趣味の第2位という結果。さらに今後も続けて楽しみたいとの回答が多く見られました。それも以前から動画鑑賞に親しんでいた若年層だけでなく、40代以降の層で新たに広まっている傾向にあります。



オーディオ機器をインテリアのアクセントとして活かすのもおすすめ。音へのこだわり感がさりげなく伝わります。

暮らしの楽しみとして継続していくことを考えれば、単に大画面での視聴だけでなく、さまざまな「プラスα」の楽しみ方・過ごし方を付加したいものです。たとえば、とっておきのワインを楽しむながら懐かしのシネマに浸ったり、子どもや孫、ペットの映像を観ながら手づくりの着で夫婦時間を過ごしたり、ビールを片手に鼻肩のチームを応援したり。大画面のある空間にワインセラーやミニシンクなどを設けて、ライティングなどで雰囲気高めれば、まさに「おうち時間」を満喫する特等席が生まれます。



仕切りのない大空間では家族や友人との楽器演奏も楽しみやすくなり、音楽の楽しみ方の幅が大きく広がります。



ご存知ですか？
マスキングサウンド効果

家族が思い思いに過ごす空間に音楽が流れていると、かえって邪魔になるのでは？ そんな疑問をお持ちでしょうか。大音量ではなくBGM的に流れる音楽は、他の家族の作業音などを適度に遮る「マスキングサウンド効果」を発揮し、自分だけの環境に集中しやすい状態を生み出します。いわばBGMがあることで、つながりを感じながらも思い思いに過ごしやすいのです。